

株式会社 地域みらい 環境行動計画

平成22年 2月23日

取組方針

株式会社 地域みらいは、『自然と人と社会を結び豊かな地域社会を築き上げよう』を経営理念として、地域住民の安全・安心をめざして測量・設計・補償を主軸に、地域のインフラ整備に関わる業務を行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、自然と調和した環境保全を重要テーマとして掲げ、地球環境にやさしく、地域社会との融和を図りながら進捗・発展していくことを目指していきます。

この目標を実現するにあたり、私たちは事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ①事業活動での省エネルギーと省資源を実施します。
- ②廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
- ③整理・整頓と時間の管理を徹底し、無駄やロスを縮減します。
- ④環境教育を定期的に行い、環境保全に対する意識を高めます。

この方針に基づいて、社員一人ひとりの環境に対する意識を高め、環境に配慮した行動が実践できるように、取組目標及び具体的な実施事項を定め、全社員に周知します。

平成22年 2月22日

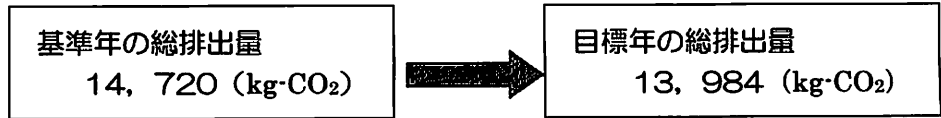
株式会社 地域みらい

代表取締役 北原良彦

3 環境負荷の低減目標

23年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも21年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を5%削減する



【目標2】 一般廃棄物の排出量を把握し、削減を図る

【目標3】 コピー用紙等の使用量を5%削減する



【目標4】 整理・整頓と時間の管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(社内での取組)

- ・ 外出時はパソコンの電源を切る
- ・ PC、周辺機器など省電力モードを使用する
- ・ お昼休みや人がいない場所は照明をOFFにする
- ・ 蛍光灯を省電力タイプに替える
- ・ 換気扇は使用後に忘れず消す
- ・ 人数が少ないときは全室暖房を使用せず灯油ストーブを活用する
- ・ 室温設定を夏は28℃、冬は20℃にして、衣服で調節する
- ・ 週1回のノー残業デーの実施

(外出時の取組)

- ・ エコ運転を実践する(急発進、急ブレーキ、急加速をしない)
- ・ 駐車中のアイドリングをやめる
- ・ 自動車の使用は、移動経路や一台に同乗するなど考慮して効率良く行う
- ・ 私用での作業車の使用はしない

【取組2】 廃棄物の削減とリサイクル推進

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 各部署でごみの量をはかり、1ヶ月毎に総務管理部で集計、前年度対比のグラフにして全員に報告する
- ・ ごみになるものを持ち込まない
- ・ マイ箸、マイボトル、マイバッグの持参につとめる

【取組3】 コピー用紙等の使用量の削減

- ・ 書類、資料の電子データ化を行い紙への印刷を減らす
- ・ 社内で使用する紙は原則、再利用とし裏面を使ってから廃棄する
- ・ プリンターの用紙設定を使用済み用紙の裏面優先にする
- ・ 印刷する前にパソコン上でよくチェックして、無駄を出さないようにする
- ・ プリンターのページ割付、両面印刷などの設定を利用して枚数を減らす
- ・ 資料は出来るだけ共有し、印刷部数を減らす。

【取組 4】 整理・整頓と時間管理の徹底

- ・器具、機材は大切に長期使用する
- ・資材購入は必要数のみにして大切に使用し、できるものは再利用する
- ・共有出来る物は、共同で使用する
- ・整理整頓をして、みんなが共有し使えるようにする
- ・提出書類はチェックをして手戻りのないようにする
- ・パソコンの中のデータも、整理整頓する
- ・無駄な会議を減らす
- ・会議は、事前文書配布、事前読み込みにより、短時間で実施する

5 環境行動計画の実施体制

総務管理部長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。